



2021年8月25日

各 位

東京都中野区本町一丁目 32 番 2 号
会 社 名 アクセルマーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 松川 裕史
(コード番号：3624 東証マザーズ)

動画 NFT トレーディングカードサービス提供に向けた 共同企画・開発に関するお知らせ

アクセルマーク株式会社は新規事業として従前より取り組んでおります、ブロックチェーン関連事業におきまして、サービスの企画、開発の共同推進について決定をいたしましたので、お知らせいたします。以下が発表の内容です。

株式会社電通（本社：東京都港区 代表取締役社長：五十嵐 博、以下「電通」）、株式会社オルトプラス（本社：東京都豊島区 代表取締役 CEO：石井 武、以下「オルトプラス」）、アクセルマーク株式会社（本社：東京都中野区 代表取締役社長：松川 裕史、以下「アクセルマーク」）は、アニメなどの映像作品 IP の動画を NFT トレーディングカードとして発行するサービスの企画、開発を共同で推進していくことを決定いたしました。「心を揺さぶったあのシーンを集める喜びをすべてのファンへ」をコンセプトに、作品ファンが好きなシーンやコンテンツを集めることによって様々な特典を得ることが可能となるなどのサービスを 2022 年春までに提供する予定です。また、コンテンツの権利者には、映像作品を活用した新しいビジネス創出、コンテンツファンとの新たな関係構築の機会を提供いたします。

NFT（Non-Fungible Token、非代替性トークン）は、ブロックチェーン上で発行される代替不可能なトークンで、改ざんが困難なことから、映像コンテンツやアート作品のデジタルデータと作者や保有者のデータを結び付けることで著作権証明、保有証明を付けた形での流通が始まっており、各コンテンツホルダーの NFT ビジネス参入が進んでいます。映像のオフィシャルライセンスを取得した NFT トレーディングカードコンテンツの例としては、カナダの Dapper Labs 社が 2020 年 10 月にリリースした「NBA Top Shot」があげられ、累計で約 765 億円以上を売り上げるなど新しいユーザー体験の一つとして、今後も市場の拡大が見込まれます。電通、オルトプラス、アクセルマークの 3 社はその保有証明が可能になるという特性に着目し、映像作品の名シーンなどをユーザーが保有し、コレクションすることが可能になるサービスの企画・開発を目指します。

なおサービス提供は安心して取引ができる環境が整備されていること、国内 8,900 万人の利用者に親しまれているインターフェースからブロックチェーンの操作ができることから、LINE Blockchain プラットフォームを活用する予定です。電通がもつ幅広いコンテンツホルダーとの活動を通じた知見や連携、企画力、オルトプラスがもつコンテンツ企画力と開発力、アクセルマークがもつブロックチェーン活用コンテンツに関する知見を活かし、ファンにとってこの NFT トレーディングカードサービスが作品やキャラクターを応援するためのコレクションアイテムの象徴となり、コンテンツの権利者にとってもファンの熱量を直に感じられるサービスにすることで、コンテンツ業界に対して新たなビジネスを創出し貢献いたします。

Dapper Labs Top Shot <https://www.dapperlabs.com/#products>

本件における 2021 年 9 月期の業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後の見通しにおいて重大な影響があると判断された場合には、速やかに開示にてお知らせいたします。

本件は中長期的に当社業績へ寄与するものと考えております。

以上